



# ひいの子



写真は、サイエンス ウィンドウ 2016 夏号/国立研究開発法人 科学技術振興機構 より

写真は、中村ブレイス株式会社 中村俊郎会長です。横に並んでいるのは、中村ブレイスで製作された義足です。専用カバーをつけてストッキングをはくと自然な足に見える義足。ゆっくり歩きたい人、時々小走りしたい人など、利用者の生活をふまえ、関節部などは海外メーカーなどから適切なものが選ばれます。「自由に動く喜びをすべての人に届けたい」という思いを形にした義足です。

1974年に一人で設立された中村ブレイスですが、現在世界でも義肢装具メーカーとしてトップランナーの企業です。創業以来、一貫して「誰かのために」「出会った感動を大切に」をキーワードに『笑顔のためにできること』をめざして発展した企業です。中村俊郎会長は、自分を育ててくれた大森町への思いが強く、石見銀山の世界遺産認定にも中心的な役割を果たされます。

義肢製作にかける思い、経営理念や町づくりについてぜひお話を聞きたいと思っていた中村会長に、この夏休み、お話を聞く機会を得ました。お話を聞き、心に残った言葉をお伝えします。

## 『生かされている感謝、生きていることに感謝』

中村会長は、23歳のときに、片道のお金で義肢装具を学びに渡米します。渡米して半年後、ひき逃げに遭い、瀕死の状態になります。気がつく

と、そこは病室ではなく、霊安室だったのです。

その後2か月、義肢装具会社オーナーの家でただ安静にしていました。

## 『ないものをつくれ ないものはさがしていく』

片道のお金で渡米した中村会長ですが、アメリカでの知り合いやつてはまったくありません。自分で探し、行動しました。不安はまったくなく、行き先を探すのが楽しく、幸せでした。「だって自分で考えて、さがしていけばいいでしょ。」とにこにこして話されました。

## 『思っているより実践すること 小さな積み重ねをあきらめたらいけない 宝は足元にたくさんある夢を持ち続けること』

創業当時は苦労されます。伯父さんが祝儀代わりに注文してくれたコルセットしか売れない月もありました。父親に正直に話すと、父親は「そうか。来月、再来月と2倍、3倍にしていけばいいな。」と励まし、「黙々と 小さき歩みや かたつむり」という句を送ってくれました。

中村会長は、この句を座右の銘にしています。

中村会長は、終始笑顔で穏やかにお話をされました。けれど、お話は、強い信念と高い理念に満ちていました。

最後に本の中から紹介します。

中村が子どものころ、「うちにはおまえという財産がある」と息子に対する信頼をはっきり示してくれた父、そして50歳を過ぎてから、「あなたが幸せになることをすれば、みんなが幸せになる」といつてくれた母。2人とも、計算して言ったわけではないだろう。「子どもは褒めて育てるべき」という教育論とも関係はない。

それでも、子どもはまさしく親の作品だと思える瞬間がある。

(世界から感謝の手紙が届く会社 中村ブレイスの挑戦 千葉 望著 新潮社 p.176より)

## 平成30年度 全国学力・ 学習状況調査結果について

4月17日（火）に実施した全国学力学習状況調査結果をお知らせします。

### 学力調査結果 ▲努力点 ◇改善策

**国語 A（知識）** 全国平均にやや劣ります。  
県・市平均と同じです。

▲漢字を文章の中で正しく使う力

**国語 B（活用）** 全国・県・市平均を少し上回っています。

▲話す・聞く力

◇ 辞書を日常的に活用し、漢字を使って文を書く習慣づけをします。

◇ 同じ音で読む漢字や似た形の漢字集め、間違えやすい漢字集め等楽しく漢字にふれるように工夫します。

◇ 経営の重点『聞く心と話す力の育成』に引き続き努めます。

**算数 A（知識）** 全国・県・市平均を大きく上回っています。

**算数 B（活用）** 全国・県・市平均を少し上回っています。

▲数学的な考え方

◇ 問題からの情報を整理し、考えを深める活動を行います。

**理科** 全国・県・市平均を少し上回っています。

▲科学的な思考

◇ 予想や仮説をもとに、見通しをもって実験や観察を行う活動を今以上に大切にします。

### 学習状況調査結果から

○は、全国・県・市に比べて、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」の回答が多かった項目 ▲努力点 ◇改善策

#### 学習において

○学校の宿題をしている

○学校の予習・復習をしている

○前学年までの授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた

○算数、理科が好き

▲平日1日当たり1時間以上家庭学習をする

▲平日30分以上家庭で読書をする

◇ 家庭学習時間は全国・県・市に比べ大きく下回ります。家庭学習（自主学習）の定着と充実に取り組みます。

◇ 読書への関心・意欲付けに引き続き様々な活動を通して取り組みます。

#### 生活において

○自分には、よいところがある

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

○毎日、同じくらいの時刻に寝て(起きて)いる  
○5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人に関わったりする機会があった

○今住んでいる地域の行事に参加している

○新聞を読んでいる

◇ 全ての教育活動を通して一人一人の自己肯定感の向上に努めます。

◇ いじめに対しては、しない、させない、許さない気持ちと態度を育てます。

◇ 地域とのつながりを子どもたちは強く感じています。今後とも、地域と一緒に育つ教育活動を推進します。

### ● ● 職員の紹介 ● ●



### にこにこサポートティーチャー 景山 政子

縁あって、9月よりお世話になっております。しばらく家にいましたので、久しぶりの学校は刺激的で、子ども達の笑顔に元気をもらっています。どうぞよろしくお願ひします。

※前任の今岡祐子は、都合により辞職いたしました。

島根日日新聞8月9日に掲載された『故郷の「学校の木」巡り 斐伊小学校』の記事です。

7月下旬の暑い日、記事を書かれた西村良一さんが、ランチルーム前の石碑の拓本をとり学校に来られました。はげやブラシで石碑のコケを丁寧に取り、水できれいに流していらっしゃいました。石碑を前にお話をしたのですが、どんな記事になるのか、とても楽しみにしていました。

記事を読み、当時の斐伊地区民の心意気を感じます。

(5) 平成30年(2018年)8月9日(木曜日)

島根日日

# 故郷の「学校の木」巡り

西尾良一

(126)

斐伊川に三万屋川が合流する雲南盆地。合流する地点は、木次と三万屋の山が最も狭まった場所である。両岸の山を風土記では、三万屋側を伊我山、木次側は城名樋山として記載している。

宍道から国道54号を南へ、雲南盆地に向かって下る長い坂道。この坂下の北側に今回訪問する斐伊小学校がある。高速道が開通して交通量が減ったと言っても同校前は交通量が多い。初めて訪問する時、二つの校門があるのに迷う。歩行者用の狭い石段を登る古い校門と、車用のスロープである。車で入ると「こども園」と書かれた看板に、違ったかなと思っが、奥に小学校がある。訪問されるなら、小さな校門をお薦め

## 斐伊小学校 ナンキンハゼ、エノキと学校碑

校の木立が覆った古い校門の石段は急である。古い校門と言っても昭和48年建設の門柱である。この坂を登り切ると、右側に新旧対照に石碑とロケットのような物体が並んでいる。

金属製ペンシル形の近代的な物体は、国土地理院が設置したGPSで測量する「電子水準点」である。出雲市立高浜小学校でも見たような気がする。

石碑は「斐伊組合校址碑」と名付



(上)石碑の篆額拓影(下)ハゼと付くのは蠶の原料から、異国風なこども園は、こわく的でもある

斐伊、神原、加茂、屋裏の6カ村で学校組合を設け斐伊小学校を開いた。30年には大己貴命の霊蹟である城名樋山麓に校舎を新築し、35年には実業補習学校教職工商の諸科を増築した。果樹園を開き運動場も増設し、良師を招いて、て学政は大きく振興し県知事から褒賞も受けた。そして大正8年3月廃校となった。この間28年。

この碑は、この地が古くから学林の地であったことを標する碑であると言え。現在の校舎は、平成12年10月に建立したとある。碑文には、明治25年、日登、木次、また、町誌や百年史には「山端の池畔に建っている」と記述される。百年史の手記には、城名樋山には杉・松が茂っており、谷間からは豊富な水が湧き出て、池には大きな鯉が泳いでいたと回顧されている。校地の歴史に特色があった。碑を先に紹介したが、村の歴史にも特色がある。斐伊とは風土記に記載された郷名である。726年以前は樋里、樋郷と呼ばれていた。同書をみると、樋郷は2社が載り、新遺院と呼ばれる寺が2カ寺も建立されている。加えて、郡役所もここにあった。今は通過道路の町であるが、古代は雲南三郡の中心地であった。現在のJR木次駅付近は斐伊郷であったから、現在の斐伊校の校区は著しく狭まった地域である。明治22年の町村制では、斐伊地区は木次に編入された。しかし、商人の町木次と純農村の斐伊では、財政的な感覚は全く相違していた。明治24年、近世の斐伊山方村、斐伊里方村は木次町から分離独立して、180戸で県下最小の斐伊村を誕生させる。貧困を伴う財政運営であったが、堅実で実直な気質は村や学校の運営で見ることが出来る。大正4年、奉安殿の新築は卒業生の寄付でなると記されている。県並びに都長から明治30年代から再三の督促があった。村の財

### 日替わり連載コーナー

◇月曜日は島根県立図書館の「おすすめ新着本」紹介 ◇火曜日は粟田養逸さんの「一人息子の介護一日一句」 ◇水曜日は西尾良一さんの「故郷の『学校の木』巡り」 ◇金曜日は「第18回 難波利三・ふるさと文芸賞」入賞作品

（にしお・りょういち）社 叢学会員

**お母さんたち すごい！！**  
**市P連バレーボール大会 準優勝**  
**おめでとうございます**



9月16日(日)、大東公園市民体育館において、雲南市PTA連合会バレーボール大会が行われ、出場19チーム中、斐伊小学校チームは見事準優勝を収められました。5月の発会式をスタートに、この大会に向け、週2日の練習を積み重ねてこられました。選手の皆さんの技能の向上、チーム力の向上のみならず、監督・コーチをはじめとするチームスタッフのご支援ご指導、PTA保体部の皆さんのご支援ご協力、ご家庭のご協力があったからこそ準優勝という輝かしい結果であります。本当におめでとうございます。

予選 斐伊小 2-0 阿用小 斐伊小 2-0 吉田連合  
 【決勝トーナメント】  
 準々決勝 斐伊小 2-0 木次中  
 準決勝 斐伊小 2-1 佐世小  
 決勝 斐伊小 1-2 木次小



第1試合第1セットは大きくリードを許してからの逆転。準々決勝は2セットともデュース。準決勝は1セット先取されてからの逆転。そして決勝3セット目は、どちらに転ぶか分からない大接戦でした。

接戦の連続で、体力、気力ともぎりぎりのところでの勝負だっと思いましたが、どの試合もチーム全員で声をかけ合い、最後まであきらめずプレーされました。接戦に強いチーム。素晴らしいチーム力に感動しました。

大きな声で応援をリードしていた中島美月さんと安部きりあさんの声が、会場の体育館に響いていました。

**9・10月 行事予定**

**9月**

21(金) シエナウインド・ワークショップ

10月18日(木)シエナウインド・オーケストラ公演(会場:斐伊小)に向けたワークショップです。指揮者体験・ボディパーカッション体験・ラテンリズム体験をします。

なかよし遊び(5年企画)

25(火) 演劇ワークショップ

劇団ハタチ族 西藤将人さんを講師に、体全部を使って表現する楽しさを感じるワークショップです。全学年1時間ずつ行います。

26(水) 宿泊研修(三瓶 5年)

27(木) 宿泊研修(三瓶 5年)

28(金) 全校朝礼 なかよし遊び(6年企画)

**10月**

1(月) 斐伊音頭練習(3年)

2(火) 10月計算会 写生会  
 ミニバス練習試合(6年)木次小と

3(水) 写生会(1年)

4(木) 町探検Ⅰ(2年) 写生会予備日

5(金) 写生会予備日(1年) なかよし遊び(4年企画)

7(日) 斐伊地区民体育大会

9(火) 町探検Ⅱ(2年) ミシン講師(5年)

10(水) ミニバス壮行式

11(木) 写生会(2年) お話の会(宇田先生)  
 斐伊音頭練習(3年) スクールカウンセラー

12(金) 市ミニバスケットボール大会(大東体育館)

15(月) 集金袋配布日

16(火) 10月書取会 写生会予備日(2年)

17(水) 訪問指導(1年生活科)

お話の会(宇田先生)

18(木) シエナ・ウインドオーケストラ公演

19(金) なかよし遊び(3年企画) 児童総会

20(土) そば打ち交流会〔斐伊交流体験事業〕

23(火) こ・保・小交流会(1年)

24(水) 後期クラブ第1回

25(木) フリー公開日 ロードレース大会  
 給食試食会(1年)

26(金) 全校朝礼 なかよし遊び(2年企画)

27(土) さくら英語スピーチコンテスト

29(月) 学習発表会ステージ練習開始

30(火) ロードレース大会予備日

